

第42期 第2四半期報告書

2017.7.1 >>>> 2017.12.31

Dreams



代表取締役社長 岩野昌彦

中期経営計画『Global Expansion 2018』に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

売上高は海外市場を中心に、引き続き需要が好調に推移し増収となりました。

2018年6月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、引き続き需要は堅調であり、特に医療事業の海外売上高が増加し、25,409百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

医療事業は、国内・海外市場ともに需要は堅調

です。国内市場においては、直接販売を行っている循環器系領域の製品群が主に好調に推移しました。PTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル「SASUKE(サスケ)」の販売が継続して伸長したことに加え、PTCAバルーンカテーテルの新製品「NC Kamui(エヌシーカムイ)」がシェア獲得により増加するなどし、好調に推移しました。海外市場においては、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテルが、主に欧州中近東、中国及びアジア市場において増加傾向にあります。そのうち欧州中近東や中国市場においては、末端需要の増加に伴うものに加え、特需などの一時的な増加も含まれております。

デバイス事業は、海外市場における産業部材が好調に推移しました。医療部材につきましては、国内市場が横ばいに推移するものの、海外市場において、米国向け末梢血管系治療用カテーテル部材及び循環器系検査用部材が減少し、売上高は減少しました。産業部材につきましては、国内市場が建築・自動車関係の取引が海外移管に伴い減少したものの、海外市場において、米国向けレジャー取引の増加や、建築・自動車関係の取引の国内からの移管の影響を受け、売上高は増加しました。

営業利益は販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加により増益となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加により吸収し、8,353百万円（同42.0%増）

となりました。

経常利益は、為替差益が減少したものの、営業利益の増加に伴い、8,408百万円（同35.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は6,160百万円（同45.1%増）となりました。

中計の成長戦略を着実に進め、企業価値の拡大を目指します。

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」「グループマネジメント

の最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

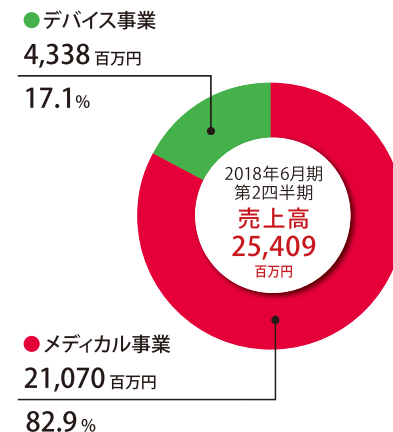
その実現に向け、当第2四半期連結累計期間では、TOYOFLEX CEBU CORPORATION(フィリピン・セブ製造工場)に新設した医療工場の稼働を開始したほか、樹脂塗装技術を有する日本ケミカルコート株式会社(取得後、非連結子会社)の全株式を取得するなどの施策を推進し、当社グループの強みをさらに盤石化することに努めました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

2018年3月

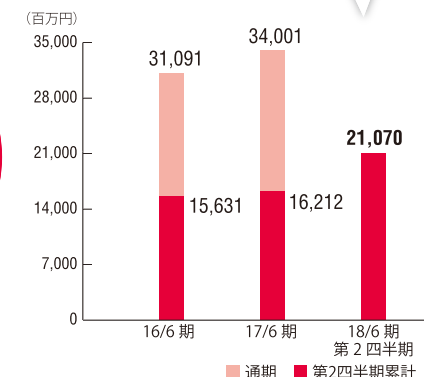
セグメントハイライト

セグメント別売上高
(%は売上高構成比)



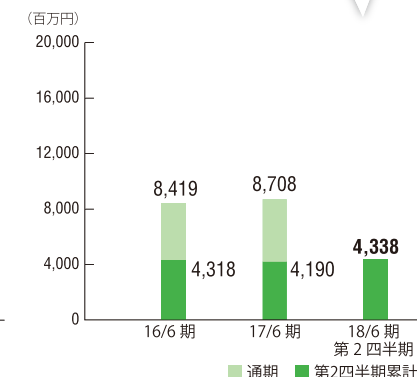
●医療事業売上高

売上高 前年同期比 **30.0%増**
国内・海外売上高ともに需要が堅調に推移



●デバイス事業売上高

売上高 前年同期比 **3.5%増**
海外市場における産業部材が好調に推移



新製品：検査用ガイドワイヤー「Silverway (シルバーウェイ)」の販売を開始予定

2018年6月期中に、検査用ガイドワイヤー「Silverway (シルバーウェイ)」の販売を開始する予定です。治療用の細径のPTCAガイドワイヤーで培った技術を応用したデザインにより、検査用ガイドワイヤーに求められる安全性と使い勝手の良さを両立を追求した、これまでにないスプリングコイルタイプのガイドワイヤーです。

追求したのは、「安全性 Safety」と「使い勝手の良さ Utility」の両立

Safety

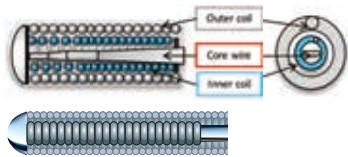
Soft & Radiopaque tip

先端チップの柔軟性を高めることにより、安全性を追求しました。
また、高いX線透過性も実現しました。

Utility

Double coil structure

先端部分を2重のコイル構造にすることで、コアの曲がり癖を最小限に抑えます。



ASAHI Silverway

Hydrophilic Coated Guide Wire
with ACT ONE



Utility

Hybrid shaft design

ACT ONE on proximal shaft

プロキシマル シャフトにACT ONE構造を採用することにより、従来のデザインでは実現困難だった回転操作性を追求しました。



「Silverway (シルバーウェイ)」の特長

検査用ガイドワイヤーには、滑り性が高く耐癖づきに優れたポリマーワイヤーと、シャフト剛性が高くデバイスデリバリーに優れたスプリングワイヤーの2種類の製品があります。「Silverway」は、ポリマーワイヤーとスプリングワイヤーの利点を活かすことで、「安全性」と「使い勝手の良さ」の両立を追求しています。

競争優位性

- **デリバリー性能の高さ**
ACT ONE構造を採用することにより、従来の0.035インチガイドワイヤーでは不可能であった回転操作性を実現。
- **滑り性と安全性の両立**
先端部・中間シャフト・手元シャフトにおいて親水性コーティング/シリコンコーティングを使い分けることにより、安全性・デバイスデリバリー性・操作性を向上。
- **高いサポート性と先端柔軟性の両立**
先端部分に、コアの曲がり癖を最小限に抑制する2重コイル構造と、コアワイヤーの徐変最適化の技術を採用。

Safety Utility

Hybrid coating design

● ディスタル シャフト (先端部)

シリコンコーティングを施し、先端部の感覚がよりダイレクトに手元に伝わることを追求しました。

● ミッド シャフト (中間シャフト)

親水性コーティングを施し、ストレスのないデバイスデリバリー性を追求しました。

● プロキシマル シャフト (手元シャフト)

シリコンコーティングを施し、手元側の操作性の向上を追求しました。

Utility

ASAHI Stainless core supportive shaft

さまざまな症例に対応できるよう、手元から先端部までシャフト剛性の最適化を追求しました。

私たちはプロゴルファーの服部真タプロと小野祐夢プロを応援しています

当社はCSR活動の一環として、アスリートを支援するスポンサーシップに取り組んでおり、11年連続シード権を獲得している地元名古屋出身のプロゴルファー服部真タプロと、本年3月に当社所属選手として契約を締結いたしました。また、2016年にプロテストを2位で合格した地元出身の若手有望株である小野祐夢プロとも、昨年4月にスポンサー契約を締結しております。当社は二人の活躍を支援することで地域への貢献につなげてまいりますので、引き続き皆様からの応援をお願いいたします。

profile

服部 真タ

- ▶ 出身地：愛知県名古屋市
- ▶ 生年月日：1988年3月3日
- ▶ プロ入会：2007年8月1日
- ▶ 優勝回数：5回
- ▶ 2017年賞金ランキング：45位 (11年連続シード)



社長の宮田と服部真タプロ



profile

小野 祐夢

- ▶ 出身地：岐阜県土岐市
- ▶ 生年月日：1997年7月13日
- ▶ プロ入会：2016年7月30日
- ▶ 2017年賞金ランキング：154位

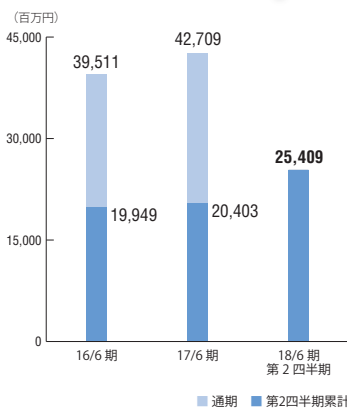


ウェア右袖とキャップのつばに当社の社名とロゴが表記されます。

連結財務データ

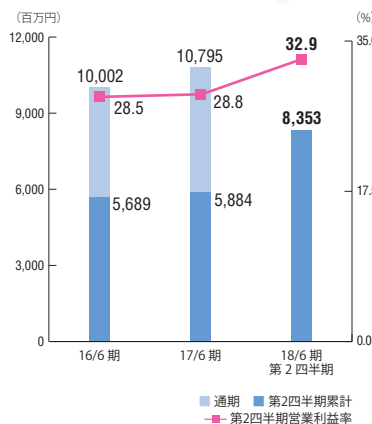
売上高

売上高 前年同期比 **24.5%** 増
 メディカル事業の海外売上高を中心に引き
 続き需要が堅調に推移し、増収となりました。



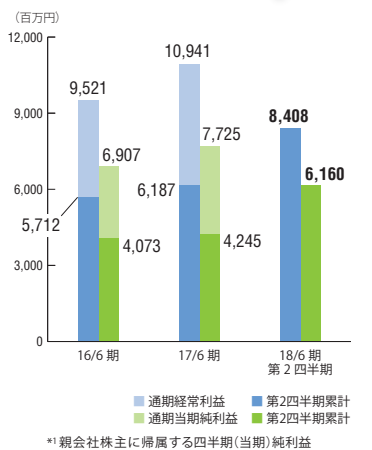
営業利益／営業利益率

営業利益 同 **42.0%** 増
 販売費及び一般管理費が増加したもの
 の、売上総利益の増加により吸収し、増益
 となりました。

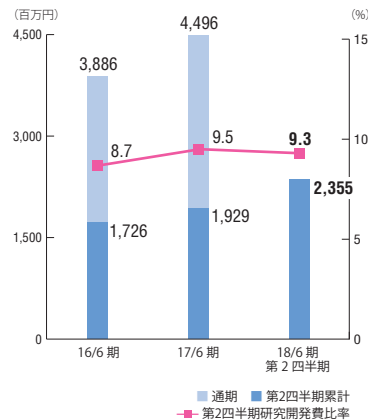


経常利益／四半期(当期)純利益*

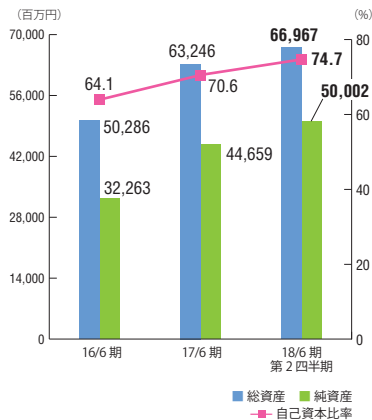
経常利益 同 **35.9%** 増 四半期純利益 同 **45.1%** 増
 為替差益が減少したものの、営業利益
 の増加に伴い、増益となりました。



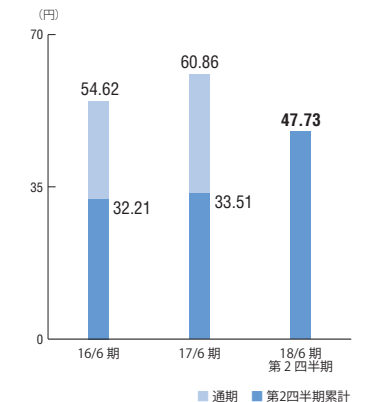
研究開発費／研究開発費比率



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益*



*2 当社は、2018年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため、2016年6月期の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

会社情報／株式情報 (2017年12月31日現在)

会社概要

商号 朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)
 設立 1976(昭和51)年7月8日
 資本金 47億9,932万円
 従業員数 連結 6,576名／単体 599名
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第二部)
 名古屋証券取引所(市場第二部)
 主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療
 製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・
 製造・販売
 ②医療機器分野および産業機器分野の部材
 等の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長 宮田 昌彦
 代表取締役副社長 宮田 憲次
 常務取締役 加藤 忠和
 取締役 湯川 一平
 取締役 寺井 芳徳
 取締役 松本 宗近
 取締役 伊藤 瑞穂
 取締役 伊藤 清道*1
 取締役 芝崎 晶紀*1
 取締役(監査等委員) 渡辺 行祥
 取締役(監査等委員) 佐藤 昌巳*2
 取締役(監査等委員) 大林 敏治*2

*1 取締役伊藤清道、芝崎晶紀は、社外取締役であります。

*2 取締役(監査等委員)佐藤昌巳、大林敏治は、社外取締役(監査等委員)であります。

株式情報

発行可能株式総数 200,000,000株*
 発行済株式の総数 64,595,800株*(自己株式1,890株を含む)
 *2018年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、当該基準によると発行可能株式総数は400,000,000株、発行済株式の総数は129,191,600株となります。

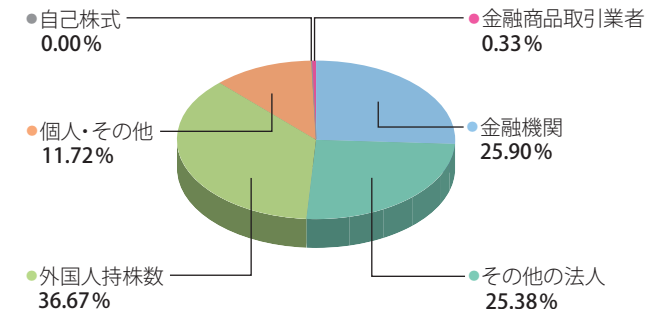
株主数 5,276名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,183,100	6.47
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,951,000	6.11
MMK(株)	3,092,000	4.78
(株)ハイレックスコーポレーション	2,400,000	3.71
アイシーエスピー(有)	2,000,000	3.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,955,100	3.02
宮田昌彦	1,673,500	2.59
宮田憲次	1,562,500	2.41
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,333,900	2.06
ICC(株)	1,290,000	1.99

(注) 持株比率は、自己株式(1,890株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



事業所 (2017年12月31日現在)

▶ 国内事業所

営業拠点	東京	東京都港区
	大阪	大阪府和泉市
メディカル事業部	瀬戸工場	愛知県瀬戸市
デバイス事業部	大阪R&Dセンター	大阪府和泉市
ジーマ事業部	ジーマ研究センター	静岡県袋井市

▶ 海外事業所

EU支店	オランダ	アムステルダム
中東支店	アラブ首長国連邦	ドバイ
シンガポール支店	シンガポール	ユナイテッドスクエア
香港支店	中国	香港
インド支店	インド共和国	ハリヤナ州
韓国支店	韓国	ソウル(特別)市

▶ 連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.	タイ	パトゥムタニ県
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	ベトナム	ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC.	アメリカ合衆国	カリフォルニア州
朝日英達科貿(北京)有限公司	中国	北京市
朝日インテックJセールス株式会社	東京都港区	
フィルメック株式会社	愛知県名古屋	市
トヨフレックス株式会社	東京都新宿区	
TOYOFLEX CEBU CORPORATION	フィリピン	セブ州
ASAHI INTECC LATIN LTDA	ブラジル	パラナ州

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ

<http://www.asahi-intecc.co.jp/> に掲載します。

但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒183-0044

東京都府中市日鋼町1-1

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒463-0024 愛知県名古屋市中区脇田町1703番地 Tel:052-768-1211(代) Fax:052-768-1221

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>